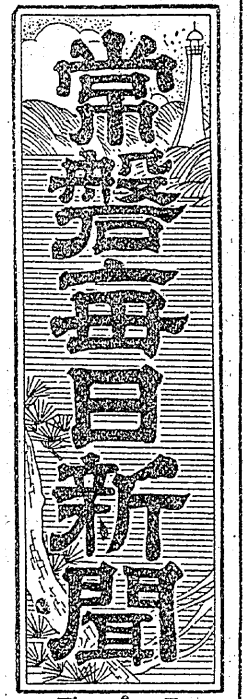


刊夕 日六拾月二



定価 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
 発行所 常磐毎日新聞社 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社 常磐毎日新聞社

『自序』

川崎君に呈す
 安倍季雄

「この位の事は誰でも知つて居さうなものだが、案外に分らない人がある。童話作家協会の会員の中にも、なぜ自分達の立派な作品をそのまま放送させないかといつて、放送局にねじこんだ人があつたと聞いてゐる。本當か嘘か知らないが、いゝ話ならどんな作品でもその儘話して聴かせ得るものだと早合点すると、こんな間違がよく起る。私達が一つの童話を子供に話さう

とすると、話方に、話の組立に、人知れぬ苦心をするのは其の爲めである。その苦心の一つとして、聴かせる童話の組立について、小さき私の體驗を書い

て見たいと思ふ。
 二 私最近、よく方々で話して居る童話に「兵隊さんのお臍」といふのがある。此の話は、大連の満鐵本社に居る山田健二君が「滿洲日報」の社會記事から拾つて、それを半ば童話化して「協和」の誌上に發表した。「本當に強い兵隊さん」にヒントを得たもので、原話は一昨年の十一月四日、在滿

電球の輸出では断然日本が世界一、昭和八年の輸出總額一千萬圓、米國の輸入電球の八割は我が國の製品

どうかして此の親思ひの少年を一刻も早く奉天の親の處に送つてやりたいと考へたが、生憎二人共文なしだそこで二人で相談の上、一人が時計を賣つて其の金で奉天までの乗車券と、菓子と辨當とお茶を買つて、少半を上りの汽車に乗せてやつた。子供ながらホロノフは、日本兵の優しい心盡しに感激して、嬉し泣きに泣きながら、買つて貰つた辨當を頬張つて居る姿を、同じ列車に乗り合せた警官が見つけてなせ泣くかときき

【朝】牛乳—カステラ 果物—チョコレート
 【晝】焼魚—あらまき 鮭
 【晚】カツレツ—鶏肉 サラダ 野菜 マヨネーズ

文藝募集

と、ホロノフ少年は、兩兵士の話をして、「日本兵隊さん、本當に強い兵隊さん」といつた。警官は直ちに電話で、次驛から守備隊長に報告した。守備隊長も大喜びで、兩兵士を呼出し隊員一同の前で表彰したといふのである。

私は一讀して、國際童話として、優れた話材だと思つた。どうかして子供に話して見たいと考へて、山田君の承諾を得、新たに創作したのが「兵隊さんのお臍」である。

平岡製菓
 電話 624

磐城セメント會社特約店
久全屋商店
 磐城平町五丁目 電話九番九九番

内科
川井内科診療所
 平南町(電話二四三)
 川井安子

看護婦急派の求めに應じます
 平町南町
平看護婦會
 電話三〇七番

父堀江工業株式會社取締役社長 江口忠一儀 去月三十一日突然發病し藥石其効無く今二日午前八時五十分死去致し候間此段御通知申上候
 追而明日午後二時不取敢茶毘に附し來る十九日午後二時平町字長橋町性源寺に於て佛式に依り葬儀相營可候
 昭和十年二月二日
 男 親戚總代 堀江 口軍 堀江 口軍 堀江 口軍
 堀江工業株式會社代表 鈴木 唯治

貴方の御家庭に
 本會を御利用下さい
 直に家政婦を派出します
 親切 料金は極めて低廉で
 妊産婦の御家庭 留守 居番
 御病人の付添 年寄やお子さんの付添
 炊事や雜用
 派出多忙に付會員至急募集
 平町紺屋町二(電話二二番)
上原家政婦會
 會主 産婆 上原通子

市内女子お茶会
魚問屋
 最優最大日本平生代理店
 志賀 盛榮
 平四丁目(電話二一三)

廿二萬圓の

巨額烏有に歸す

平署管内五ヶ年間の火災

平署管内に於ける昭和五年から昨九迄五ヶ年間の火災回数八十六回、此の爲め烏有に歸した損害は三十三萬九千九百三十七圓の巨額に達するが昨九年度は十六回一萬四千四百五圓で五ヶ年間に最も少く多額に及んだのは八年の十三回で十二萬八千十三圓、次は七年

更生資金に

馬市期待さる

郡下の春耀日割が決定

過般の二師團地方馬匹検査で断然名譽を博した石城郡の春耀は三月三十日からの中寺を皮切りに開かれるが最近漸次買値が上向きなため漸次買値と冷害凶作に打ちのめされた農村もこれに潤ひを得て更生の資金

平驛早くも

花見列車の準備

平驛は四月博覧會の開催と共に賑ふ松ヶ岡公園の觀櫻を當て込んで觀櫻列車を特別仕立てとし運轉すべく此程水戸運輸事務所と打合の結果平水戸間の第一回の列車は四月廿一日(第三日曜)

組頭

けふ會議

既報平署は本十六日午前十

時より會議室に管内消防組頭會議を開いて左記事項を協議した

- 一、消防事務視察の件
- 一、縣下組頭會提出案協定
- 一、優良組員表彰の件

一、春季消防檢閲の件
内示會決定
廿日午後二時

既報平町歳入出豫算の内示會は廿日午後二時よりと決定

藤井利譽氏に

講演の交渉中

第三方面青年團總會

既報一来る三月三日開催する本郡第三方面聯合青年團の總集會は都合に依り同六日(舊二月二日)に變更午前九時半から平町聚樂館に於て優良團の表彰、團員の意見發表、劍道試合等ある外東京市前教育局長湯本町水野谷出身の藤井利譽氏の講

納税浪曲の

郡下巡回日割

平稅務署は納稅思想の普及を畫る爲め既記の如く岩手縣九戸郡夏井村小林肇黨一行を招いて納稅美談の浪曲會を郡下各町村に開催すべき計劃であるがその日割は左の如く決定した

植田爾市協議

植田爾市協賛會は來る二十日午後一時から同組合事務所にて總會を開き決算報告後昭和十年度借入最高限度の決定、餘額金預け入れ先の決定、報酬給料旅

就學出來ぬ兒童

來る廿五日迄に届出よと
平役場の注意

今年度の就學兒童は昭和三年四月二日から同四年四月一日迄の間に出生した兒童であるが右の兒童中疾病其他の事故の爲め就學出來難いものは願書に醫師の診斷書を添付し猶豫又は免除願を來る二十五日迄町役場に

磐中四年演習

磐中四年生の野外演習は來る十九日平窪村方面に於て比佐庄司兩教官指導の下に行

入學願書の請求

既に募集人員の倍數

既報一来る十八日から入學願書の受付を開始する平商の入學志願者は卒業生の就職戦線が好況を傳へられてゐる折柄なので百名の募集人員に對しけふ迄に各小學校よりの願書用紙請求數は二百を突破する盛況であり此の分では入學志願者が三百名を越すであらうと豫想されてゐる

市原醫院

平・田町
電話一四四番

外科

門專光X
科線科

上田外科醫院

平町南町
電話一九二番

外科 内臓外科

レントゲン線

病室完備
博醫學士 諸橋鐵彌
新川町二七 (電四六四)

宗正らひた

美味!
芳醇!

山崎合名會社
電話一〇番

重大犯檢舉に

平署再度の殊勳

一萬餘圓のお目見得女賊

情夫と潜伏中

昨十五日午後七時頃警視廳から「二萬餘圓の御目見得窃盗を働いた女賊が赤井村に潜伏中」なる旨の電話を入手した平署にては同夜八時安藤刑事部長の一行が赤井村大字赤井字浅口四農今田治方に乗込み情夫の加島真一(三)と潜伏中の大平マツ(四)を難なく檢舉し今朝日本橋區堀留署より出張し来た高木榮兩刑事に身柄を引渡した平署はこれに依つて先の殺人共犯者四名の逮捕と共に警視廳依頼の重大犯人檢舉に再度の殊勳をたてた事として喜びに溢れて居る

若い燕に

悉くみつづく

御目見得女賊大平マツ(四)は茨城縣多賀郡豊浦町字川尻の産、昨年十二月廿六日東京市日本橋區堀留二丁目

酒問屋

小菅敬造氏方に女中として雇はれたが二日目の廿八日早曉家人の寝入り華を覗つて主人の部屋から公債其他有價證券等一萬三千圓及び現金三百圓入りの手提金庫を窃取逃走した外同様手段で六件に亘り約五千圓の御目見得泥を働いたが

警視廳

の手配に身の危険を感じ去月十五日頃うら若い燕の加藤真一と共に同人の養父である前記赤井

村今田方に潜伏中を檢舉されたもので同人は東京市内の各桂庵から中流家庭のみを覗つて女中或

情夫の母親に

成り済して

主家を暇取る

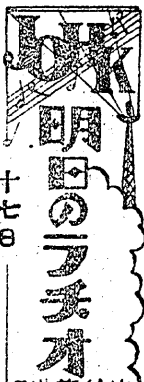
昨夜の愁嘆場署員も顔負け

女賊大平マツは昭和七年一月に日本橋の某呉服店に女中として雇はれて居た際隣家の石炭屋の配達員として働いて居た加島と知り合つたのが馴れ染めたので其後男の歡心を買ふ爲め五圓十圓と

夫の入坑中

不貞の妻逃走

勿來町字出倉大日本炭礦坑夫市川治助の妻ツエ(三)は同雇人新井藤次(四)と夫の眼を忍ぶ仲となり昨十五日午前八時頃亭主の入坑中に手を取り合つて行衛を晦したが平町に潜伏して居るといふ本日平署に捜査方を願出た



今晚も明日も北西の風天気良し

今晚の部

後六、〇〇 掛合童話「動物問答」梅田久雄
後六、二五 英語講座(二)の六 細江逸紀
後七、三〇 萬壽節奉祝
愛國吹奏樂團
後八、一〇 連続ラヂオ小説「盲笛」坂東震助

明日の部

後八、三〇 管絃樂 東京音樂學校演奏大會 日比谷公會堂中継
後九、〇〇 時事解説 滿洲國公使館參事官原武
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

長橋夜警所移轉

川崎本社長宅地内に設置した平町長橋町火防組合の夜警屯所は今回本社別館新築の爲め尼子稻荷神社下に移轉する事となり明日より着工すると

選炭場から墜落

内郷村字宮警城炭鑛選炭婦深田ハルイ(三八)は昨十五日午後二時頃選炭作業中高さ二丈の高所より墜落し頭部を破り直に炭鑛病院に收容手當を加へたが同日午後三時絶命した

育つた子の

顔見たさに

グレ親父の無心

東京市蒲田區羽田町一丁目大工目黒修(三)は十二年前石城郡草野村字馬目徳之助長女イネと結婚し一兒を擧げたが素行修らず離縁となり子供は其後親戚の平町四丁目肥料商草野喜一方に預けられ無事學校に通つて居るが目黒は子供戀しさに去る十四日夜草野方に至り子供を連れ戻すと稱し歸りの旅費を無心して動かぬ處を

井上中將

時局の講演 内郷村警城炭鑛在郷軍人分會は明十七日午後一時より淺野記念會館に於て元第二

警中卒業考査

警中の卒業考査は来る十九日より六日間に亘り執行される

鈴木訓導全快

病氣静養中の平第一小學校鈴木康氏は此程全快今十六日より出勤した

裁判所たより

△小名濱町字竹町甘酒屋藤谷高松(六)同町字渚農吉田元彦(六)同小野勝司(三)同町字定西竹細工業齋藤長吉(〇)同農田中彦作(五)同町字古港漁夫小野武一郎(一)の六名は十丹賭博を開帳した事發覺本日平區裁判所香西判事から略式に依り夫々

- 歌謡曲 杵屋勘六
- 後二、三〇 講談「木村長門守」神山山陽
- 後六、〇〇 子供の時間 放送童話研究會
- 後七、三〇 校歌と應援歌 東京商科大学一橋音樂部
- 後七、五〇 五代目菊五郎 追善演奏會 日比谷公會堂中継
- 後八、五五 備前西大寺會 陽實況 岡山縣西大寺觀音院より中継
- 後九、一〇 連続ラヂオ小説「盲笛」(四)坂東震助
- 時局大講演會を開く
- ラヂオ見學「陸軍飛行場見學」立川陸軍航空少佐小澤直治
- 前一、〇〇 日曜勤行 東福寺開山堂より中継
- 前一、〇〇 趣味講座 「今は昔珍らしい食物の話」木下謙次郎
- 前一、一〇 講演「アマゾン富源を探る」上塚司
- 後〇、五〇 滿洲より 講演 滿鐵計書部前島秀博
- 後一、二〇 ラヂオドラマ 「大久保彦左衛門」中村梅玉一座
- 後二、〇〇 新日本音樂
- 師團長井上勝治中將を招き
- 罰金四十圓乃至二十圓宛に處された
- 平職案紹介所報告
- 回人を求める方
- △女中 二十迄 尋卒 月 五六圓
- △坑夫 四十才迄 日給一圓二十錢
- △印刷見習 十八才 尋卒 月四圓
- △店員 十九才 尋卒 月 六七圓
- 回職を求める方
- △洗濯職工 二十三才 尋卒
- △トラウツ助手 二十一才 高卒
- △職工 二十六才 尋卒
- △大工 三十五才 尋四修
- △雜役 卅三才 尋卒



明治太平記

(上巻及上流)

(作) 寺島樞史
(畫) 野口 遜

第五十四回

助太刀商賣 (十一)

「しかもその割の悪い使者の役目をかかると僕が承はつてしまつたのさ、ところがいままきくとパークス閣下はそれほど君に熱心してをつてはなかつたに君を歸しはしまいで」

「いえ、パークスさんよりかあしたが、だいち不服ですわ」

おとわは、はつきりと云ひ切つた

「君までが……」

井手は當惑の顔をした

「あい、このまゝ引退れといはれてすこゝ出ていくやうなそんな意気地なしではないわ、それア政府の大官達もあんまり身勝手といふものよ」

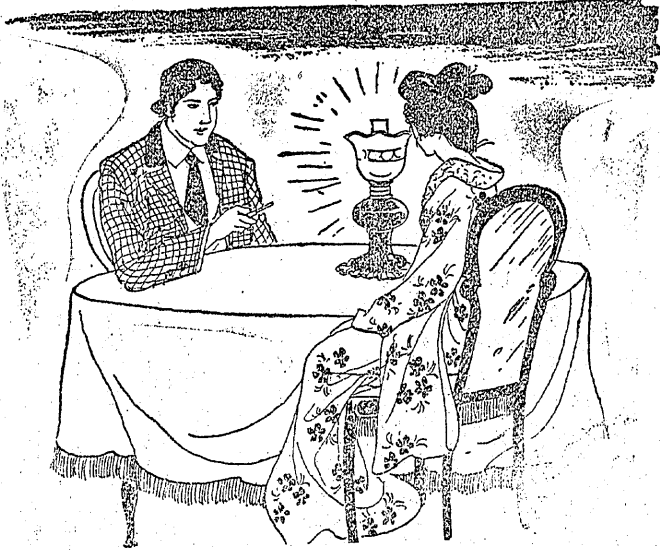
「さて、待ちたまひ、それは一個人の感情の問題ぢやよ、が、こちらで君にたのむのは何しろ國家の一大事であるからなア」

「いやです、國家の爲に毛唐に身をまかしてくれといつたくせにいました國家の爲に身を退いてくれなぞ國家々々とあんまり方便に使つてゐるわ」

「いや、わかる君の氣持は

充分にのみ込めた、だからパークス閣下の許を引退るについては十二分に手切金を貰ふやうに僕が盡力するよ」

「何ですつて、手切金……馬鹿はおしでないよ手切しゆつへり火を點けた



金や月々の手當がほしさに人のいやがる洋妾になりはしないよ、あたしにはあたしだけの望みがあつたからよ」

「仇討だね」

おとわは薄紅唇を血の出るほど噛んだ。
「ところが政府筋ではいま

この時局難題の際に君の仇討をされてはいよいよ一大事だといふわけでそれが根本理由で洋妾解約なのさ、どうか、そのことは、いま暫く思ひ止まつてくれたまへ」

「いやです」

「厭……しかし君がいくらもがいてみたところであらう、あのウエルズ大佐を刺すことか出来るものか、またの機会を待て」

井手はさういつてポケットからシガーレットとを取出しゆつへり火を點けた

てそのまゝ放りだされたんではない、え死んでも死に切れないわ」

「舊時代さ」

「舊時代の真中さ毛唐々々といふて西洋人に何されたことを、君は生涯の後悔のやうにいふてをるがことに英國人はわれわれ日本人より數等優良な人種なのだよその上等人種に、何されたことはむしろ光榮とすべきだ」

ゆつたり、紫煙を吐いて井手はニヤリと笑つた
「いえ、ちがひますパークスなんかけたものなんですよ」

店主	か	を	正	正	正
か	を	正	正	正	正
店員	店員	店員	店員	店員	店員
行	行	行	行	行	行
茶	茶	茶	茶	茶	茶
場	場	場	場	場	場
酒	酒	酒	酒	酒	酒
場	場	場	場	場	場
サ	サ	サ	サ	サ	サ
ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ
ン	ン	ン	ン	ン	ン
電	電	電	電	電	電
二	二	二	二	二	二
五	五	五	五	五	五
三	三	三	三	三	三
番	番	番	番	番	番

花環 蓮華
花籠 蓮華
造花
町川新平
橋本屋
電話一六三番

貸切の御用命は！
電話六四〇番
尼子タクシーへ
是非お願いいたします
遠乗りには特に御相談に應じます

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
平町南町一六(電話一七〇番)

かまぼこ製造
杉本洋行

平町一丁目
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
玉屋洋品店
電話一四一番



内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番